

100年企業を目指して、温暖化対策に取り組む

株式会社 土田鶏卵（福井市）

SDGsに貢献！

- ・卵の殻の堆肥化などによる温暖化対策
- ・地域の未来を担う人材の育成に貢献



1.鶏卵を粉砕して堆肥にする 2.土田鶏卵のGPセンター（鶏卵の選別包装施設）に太陽光パネルを設置 3.高校生の職場見学の様子

取り組みのきっかけ

当社は生産農場を持ち、福井県内へ鮮度の高い鶏卵を届けています。卵を産む鶏は暑さに弱く、年々厳しさを増す暑さに苦慮しており、廃棄物の削減に取り組むことで少しでも気温上昇の問題解消につながるのではと考えました。そこで卵の殻にカルシウムが多く含まれていることに着目し、卵の加工時に廃棄される殻を生産農場に持ち込み、堆肥化し、発酵鶏糞として販売しています。また、照り付ける太陽の光を有効活用するため、工場の屋根に太陽光パネルを設置して、発電した電力を自家消費しています。

特に注力しているSDGsの取り組み

創業以来、「人の幸せのために日々精進し、地域社会の発展に貢献する」が企業理念です。この理念にのっとり、高校生の職場体験や工場見学を積極的に受け入れています。高校生に地元の企業を知ってもらい、地域を好きになってもらうことで、福井に残る若い世代を増やすことができれば、地域社会の活性化につながると考えています。また、新たな取り組みとして、鶏卵パックの原料であるペット素材のリサイクルを目指し、地域の会社と連携しながら研究開発を進めています。

担当者の思い

代表取締役 上野 顕士さん

SDGsへの取り組みを始めてから、地域社会を意識する社員が増えたのが大きな収穫です。少しずつですがSDGsが社内に浸透し、進んで地域の清掃をしたり、会社から出るゴミの削減を意識したりと、身近なところから自主的な行動が増えてきました。会社の持続が、地域社会の持続と発展に結びつくように成長し続けたいと考えています。



Company Information

株式会社 土田鶏卵

住所 / 福井県福井市御幸2-25-44

事業内容 / 鶏卵製造卸販売

創業年 / 1937年

代表者 / 代表取締役 上野 顕士

従業員 / 71名（2022年11月）

<https://www.t-tamago.co.jp/index.html>



会社ホームページ